

IMAGENICS

DVI Converter

DVC-165

取扱説明書

お買い上げ頂きありがとうございます。

DVC-165 は、各種アナログ映像信号を DVI(HDMI)信号に変換したり、DVI(HDMI)信号をアナログ映像信号に変換するための機器です。(HDCP で保護された信号はアナログ出力できません)
ご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読された上で、正しくお使いください。

目次

安全にお使いいただくために	2
1. 同梱物の確認	3
2. DVC-165 の特長	3
3. 前面パネルの説明	4
4. コネクタパネルの説明	5
5. ピン配置	6
(1) DVI-I	6
(2) 接続例	6
6. 内部構成	7
7. 本体操作	8
(1) メニュー一覧	8
(2) メニュー詳細	9
(3) ダイアルロック	14
(4) データバックアップ	14
8. ラックマウント	15
(1) 本機の準備	15
(2) MK-104A を使用する場合	15
(3) QB-2 と MK-100 を使用する場合	16
9. 主な仕様	17

Copyright © 2013-2015 イメージニクス株式会社 All rights reserved.

1. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本機のファームウェアおよびハードウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
6. 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。当社、営業窓口までご連絡ください。

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

絵表示について



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり、物的な損害を負う可能性がある内容を示しています。

	注意(警告を含む)を促すものです。たとえば は、「感電注意」を示しています。
	禁止行為を示すものです。たとえば は、「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば は、「プラグを抜くこと」を示しています。



警告

 プラグを抜く	◆ 本機から煙や異音ができる、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になることがあります。異常が発生したら直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社サービス窓口にご相談ください。 ◆ 内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談ください。
 火災 感電	◆ 本機は日本国内専用です。交流 100 V、50 Hz または 60 Hz の電源でご使用ください。交流 200 V 系の電源でご使用になられる場合は、当社営業窓口にご相談ください。 ◆ 電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。万一、電源コードが傷んだら、当社営業窓口で修理をご依頼ください。 ◆ 湿気や、油煙、湯気の多いところや直射日光のあたる場所に置かないでください。また、布などをかけたり、じゅうたんやふとんなどの柔らかい物の上に置いたりしないでください。 ◆ 放熱をよくするため他の機器との間は、少し離してください。ラックなどに入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。 ◆ 使用温湿度範囲を必ず守ってください。 ◆ 電源プラグを抜くときにコードを引っ張ると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。プラグの部分を持って、抜き差ししてください。
 接触禁止	◆ 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
 分解禁止 改造禁止	◆ 分解、改造などをしないでください。内部ディップスイッチの設定などをおこなう場合は、取扱説明書の当該ページをよく読んで上で、電源を切り電源プラグを抜いてからおこなってください。また設定後は、内部に金属片などの異物を残さないように注意して本体を閉めてから電源プラグを挿し、電源を入れてください。内部の点検や修理は、当社の営業窓口にご依頼ください。



 プラグを抜く	◆ 移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。 ◆ お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。 ◆ 信号ケーブルを抜き差しする場合は、電源プラグを抜いて作業してください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと、感電したり故障の原因になることがあります。
 濡れ手禁止	◆ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
 安定した場所に置く	◆ 不安定な場所に設置すると、落下によりけがの原因になることがあります。
 保管方法	◆ 保存温湿度範囲を必ず守ってください。
 定期的に掃除する	◆ 長期間の使用において内部にほこりがたまり、火災や感電の原因になることがありますので定期的に内部の清掃することをお勧めします。当社営業窓口にご相談ください。 ◆ 電源コンセントにプラグを長期間挿したままにしておく、その間にほこりやゴミがたまります。さらに、空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるためプラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかり挿し込まれているか、ほこりがついていないかなどを点検してください。

1. 同梱物の確認

DVC-165 を箱から取り出したら、次のものが入っていることを確認してください。

同梱物	数量
DVC-165 本体	1 台
取扱説明書(本書)	1 冊
電源コード	1 本
スイッチカバー	1 ケ
DVI/Dsub 変換アダプタ	1 ケ

万一、内容物に不足がある場合には当社営業窓口にご連絡ください。

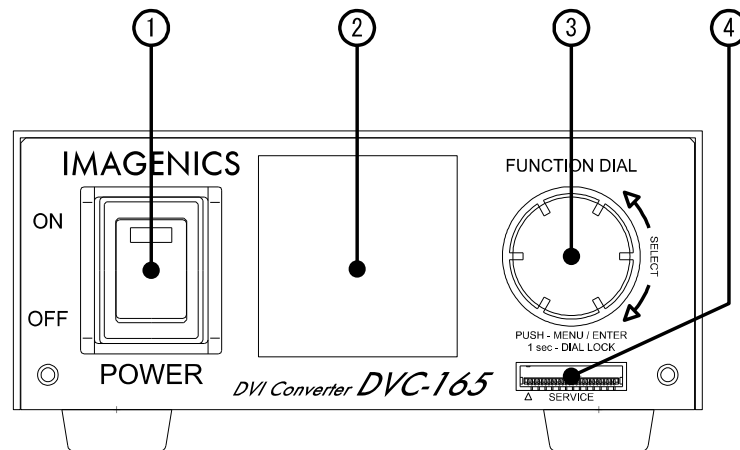
2. DVC-165 の特長

DVC-165 は、各種アナログ映像信号を DVI(HDMI)信号に変換したり、DVI(HDMI)信号をアナログ RGB に変換するための機器です。

DVC-165 の主な特長は次の通りです。

- アナログ映像入力、コンポジットビデオ・Sビデオ・色差コンポーネント・RGB に対応しています。
- ビデオデコーダには、3 次元 Y/C 分離、TBC 機能を搭載しています。
- デジタル映像入出力は、DVI および HDMI に対応しています。
- デジタル映像入出力は、HDCP に対応しています。
- 映像入力が HDMI のとき、エンベデッド音声をアナログ出力できます。
- 映像出力が HDMI のとき、アナログ音声を重量できます。
- 音声入力レベル調整ができます。
- 音声遅延量は、1 ミリ秒/0.1 秒/1 フレーム の単位で設定できます。
- 電源回路を内蔵しています。

3. 前面パネルの説明



① 電源スイッチ (POWER)

電源プラグをコンセントに挿し、このスイッチを ON 側にするにより電源ランプ (緑のランプ) が点灯し電源が入ります。

② ディスプレイ (DISPLAY)

本機の設定を行う際のメニューが表示されます。

メニューが表示されていないときには、入力映像などを表示できます。

③ ファンクションダイヤル (FUNCTION DIAL)

音量調整、メニュー操作などを行います。

メニューが表示されていないとき

短押し → メニューを表示します。

長押し → ダイアルロックの設定・解除をします。

回転 → 「TOP」→「CONFIG」→「DIAL」で設定した機能として動作します。

メニューが表示されているとき

短押し → カーソル位置の項目を選択します。

長押し → メニューを抜けて初期表示に戻ります。

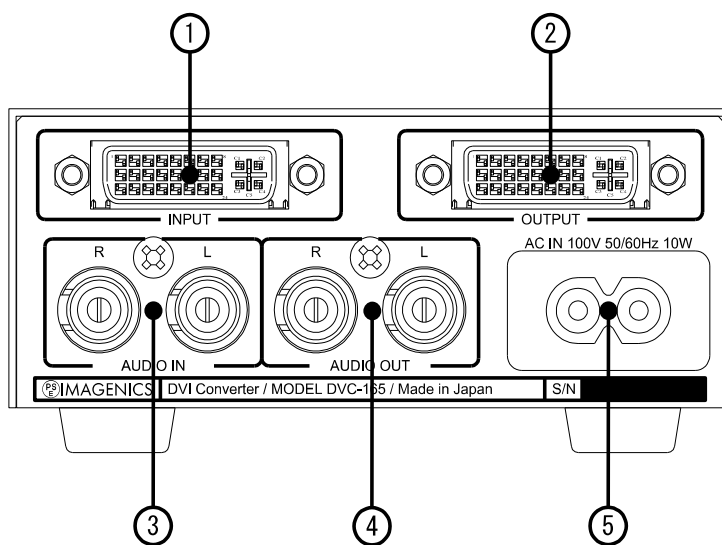
回転 → カーソル移動、選択項目のパラメータ変更などを行います。

④ サービスポート (SERVICE)

本機のファームウェア書き換えの際に使用します。

通常は使用しません。

4. コネクタパネルの説明



① 映像入力端子 (INPUT)

映像信号を入力します。

DVI / HDMI / コンポジットビデオ / Sビデオ / 色差コンポーネント / RGBHV に対応しています。

HDMI 機器と接続する場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブル または アダプタ をご使用ください。

アナログ信号を入力するには、付属の DVI-Dsub 変換アダプタをご使用ください。

② 映像出力端子 (OUTPUT)

映像信号が出力されます。

DVI / HDMI / RGBHV に対応しています。

HDMI 機器と接続する場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブル または アダプタ をご使用ください。

RGBHV で出力する場合は、付属の DVI-Dsub 変換アダプタをご使用ください。

③ 音声入力端子 (IN)

アンバランス ステレオのアナログ音声信号を入力します。

モノラル信号を入力する場合は、L 側に入力すると R 側に分配されます。

④ 音声出力端子 (OUT)

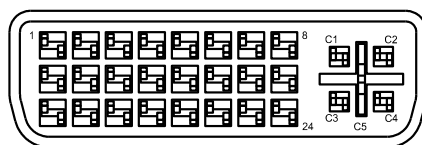
アンバランス ステレオのアナログ音声信号を出力します。

⑤ 電源 (AC IN)

AC 100V、50Hz または 60Hz の電源に接続してください。

5. ピン配置

(1) DVI-I

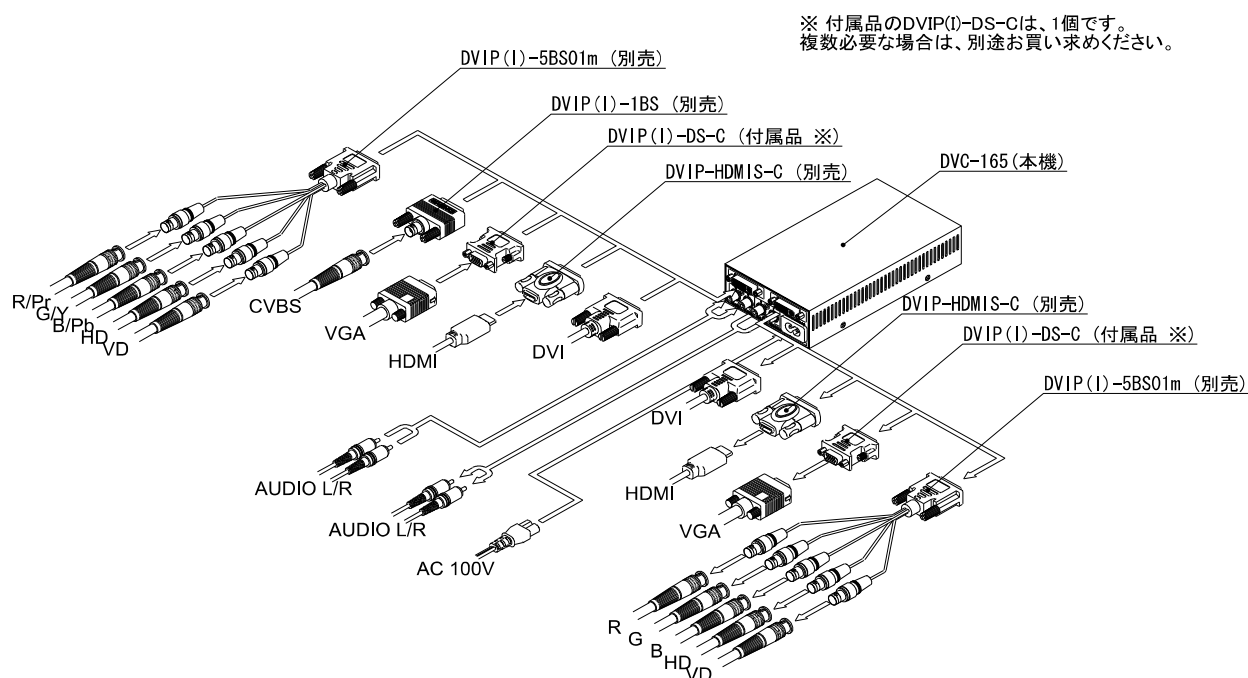


ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Data2-	9	Data1-	17	Data0-
2	Data2+	10	Data1+	18	Data0+
3	Data2 Shield	11	Data1 Shield	19	Data0 Shield
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock	14	+5V Power	22	Clock Shield
7	DDC Data	15	Ground (for +5V)	23	Clock+
8	V sync	16	Hot Plug Detect	24	Clock-
C1	R/Pr/-/-(※)	C2	G/Y/Y/CVBS(※)	C3	B/Pb/C/- (※)
C4	H sync	C5	R,G,B Ground		

※ RGB / YPbPr / S-VIDEO / CVBS の順で表記しています。(出力側はRGBのみ対応)

(2) 接続例

DVI 以外の信号を入出力する場合は、変換アダプタを使用して以下の図を参考に接続してください。

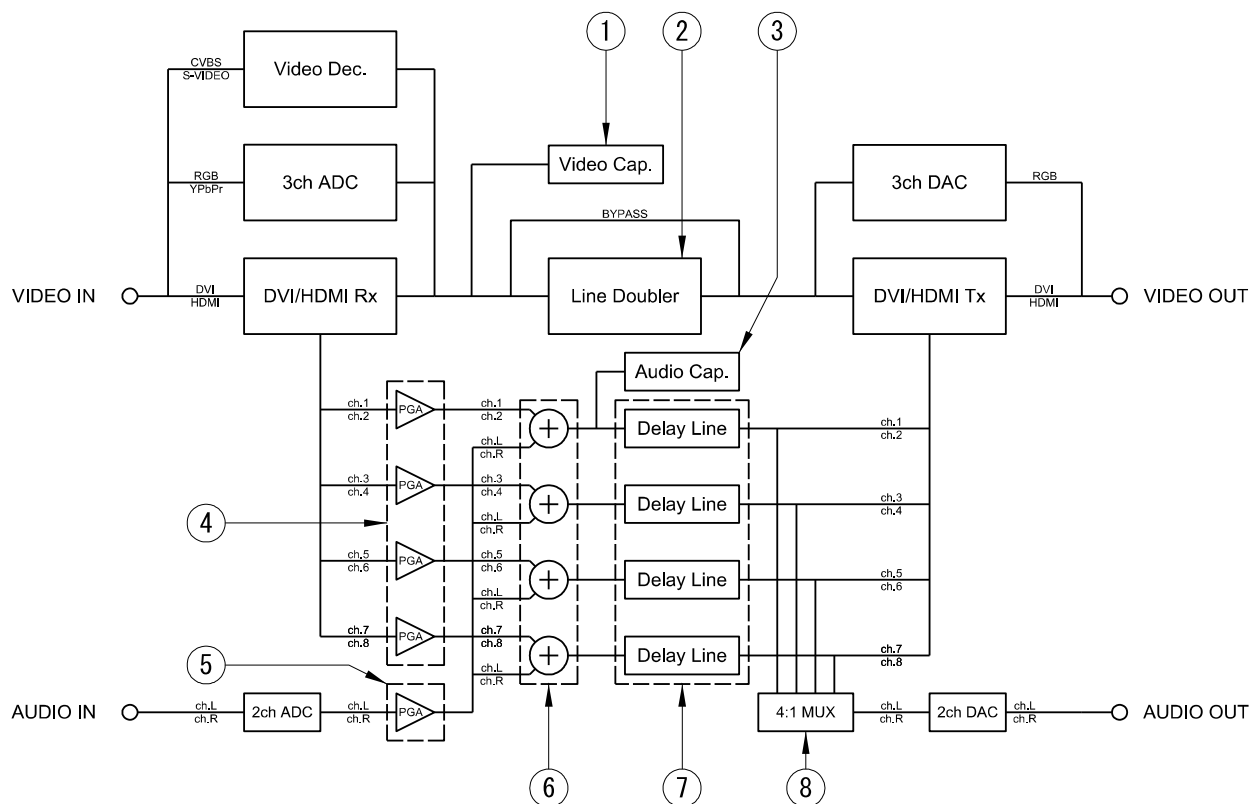


※ 付属品のDVIP(I)-DS-Cは、1個です。
複数必要な場合は、別途お買い求めください。

6. 内部構成

本機の内部構成は以下のようになっています。

下図を参考に、ボリューム、音声遅延の設定などを行ってください。



- ① 映像キャプチャ ここで本機前面に表示される映像を取り込んでいます。
- ② 倍速変換 入力がインターレス信号で デジタル映像出力が DVI のとき 倍速変換を行います。
- ③ 音声キャプチャ ここで本機前面に表示される音声を取り込んでいます。(ch.1,2 のみ)
- ④ デジタルボリューム デジタル音声のボリューム調整を行います。
「TOP」→「SIGNAL」→「AUDIO」→「VOLUME」の「ALL」+「DIGITAL」の値が設定されます。
- ⑤ アナログボリューム アナログ音声のボリューム調整を行います。
「TOP」→「SIGNAL」→「AUDIO」→「VOLUME」の「ALL」+「ANALOG」の値が設定されます。
- ⑥ ミキサー デジタル音声とアナログ音声をミックスします。
「TOP」→「CONFIG」→「AUDIO」→「MIXER」で各ミキサーを ON/OFF できます。
- ⑦ デレイライン 音声を遅延させます。
「TOP」→「SIGNAL」→「AUDIO」→「DELAY」の値が設定されます。
- ⑧ セレクタ アナログ出力するチャンネルを選択します。
「TOP」→「CONFIG」→「AUDIO」メニューの「D/A ch.」で D/A 変換するチャンネルを選択できます。

7. 本体操作

(1) メニュー一覧

TOP	トップメニュー	
EXIT	メニューを終了します	
AUTO. ADJ	オートアジャスト	①
SIGNAL	入力信号に対する設定	
VIDEO	映像の信号タイミングの設定	②
PRESET	以下のプリセット値から設定します	②-a
CEA	規格 CEA 861-D	
DMT	規格 VESA DMT	
GTF	規格 VESA GTF	
CVT	規格 VESA CVT	
MANUAL	手動で各種パラメータを設定します	②-b
MEMORY	ユーザーメモリの保存／呼び出しを行います	②-c
AUDIO	音声の遅延量・音量の設定	③
DELAY	遅延量の設定を行います	③-a
VOLUME	音量の設定を行います	③-b
INFO	各種情報の表示	④
IN. SIG	入力信号の情報	④-a
IN. EDID	入力側から相手機器に送られるEDIDの情報	④-b
OUT. SIG	出力信号の情報	④-c
OUT. EDID	出力側で相手機器から読み出したEDIDの情報	④-d
CONFIG	本機の動作設定を行います	
VIDEO	映像信号の動作設定	⑤
INPUT	入力側設定	⑤-a
OUTPUT	出力側設定	⑤-b
NO-SIG	入力無信号時出力設定	⑤-c
TEST	テスト信号出力設定	⑤-d
AUDIO	音声信号の動作設定	⑥
MIXER	ミキサーの設定	⑥-a
D/A ch.	DACの設定	⑥-b
F. RATE	フレームレートの設定	⑥-c
TEST	テスト信号出力設定	⑥-d
DISPLAY	本体ディスプレイの表示設定	⑦
DIAL	本体ダイヤル回転操作の動作設定	⑧
DBLCLK	本体ダイヤルダブルクリックの動作設定	⑨
INIT	出荷状態に初期化	⑩
ROM Ver.	本機のファームウェア情報	⑪

※ 番号が表示されている項目は、次項「(2)メニュー詳細」の説明箇所を示しています。

(2) メニュー詳細

① TOP>AUTO.ADJ

入力のアナログ映像信号の自動調整を行います。

入力信号が安定していることを確認してから、この項目を実行してください。

※ これは 補助的な機能であり、すべての信号に対して正確に調整できるものではありません。

数回試しても調整しきれない場合は、マニュアル設定にて調整してください。

※ TV 系の信号の場合、ブランキングにデータ信号が重畳していることがあり、アクティブ領域を正しく認識できないことがあります。
この場合は、プリセットから規格値を読み出すか、マニュアル設定で調整してください。

② TOP>SIGNAL>VIDEO

現在入力されている解像度の信号タイミングなどを設定します。

a. PRESET

設定値として 各規格の値を使用します。

略記	規格名	設定方法
CEA	CEA 861-D	RESO-No LOAD 目的の解像度をリストから選択します。 選択された解像度のタイミング値が設定されます。
DMT	VESA DMT	RESO-No LOAD 目的の解像度をリストから選択します。 選択された解像度のタイミング値が設定されます。
GTF	VESA GTF	WIDTH HEIGHT V.FREQ INTLACE LOAD 水平解像度を入力します。 垂直解像度を入力します。 垂直周波数を入力します。 インターレースかどうかを選択します。 上記のパラメータから計算したタイミング値が設定されます。
CVT	VESA CVT	WIDTH HEIGHT V.FREQ INTLACE RDCBLK LOAD 水平解像度を入力します。 垂直解像度を入力します。 垂直周波数を入力します。 インターレースかどうかを選択します。 ReducedBlanking かどうかを選択します。 上記のパラメータから計算したタイミング値が設定されます。

b. MANUAL

各設定値を手動調整します。

項目	説明
COL.SPC	入力信号の色空間を設定します。 RGB / YCbCr / YPbPr
CLOCK	水平総クロック数を設定します。 モアレが発生する場合に調整してください。
RESO.W	水平解像度を設定します。
RESO.H	垂直解像度を設定します。
POS.X	水平位置を設定します。
POS.Y	垂直位置を設定します。
CLAMP	クランプ位置を設定します。通常は「1」に設定してください。 ミスクランプが発生する場合は調整してください。
PHASE	サンプリング位相を設定します。 映像がざわついたり、ぼやける場合に調整してください。
ASPECT	HDMI 出力のとき、後段に伝えるアスペクトの情報を設定します。 通常は「AUTO」で使用してください。 AUTO / 4:3 / 16:9
DA_MODE	「CONFIG」→「VIDEO」→「OUTPUT」→「DA_MODE」を「ref.SIG」に設定したときの、 アナログ映像出力の色空間と同期方式を選択します。 RGB+HV : RGB で HV セパレート同期 (PC 系の初期値) YCbCr : YCbCr で Y に 2 値同期を重畳 (SDTV の初期値) YPbPr : YPbPr で Y に 2 値同期を重畳 (HDTV の初期値) RGB+SOG: RGB で G に 2 値同期を重畳

c. MEMORY

ユーザーメモリの保存、読み出しを行います。

項目	説明
MEM.NUM	操作するメモリ番号を設定します。
LOAD	「MEM.NUM」で指定されたユーザメモリから設定値を読み出します。 現在の入力信号が 指定されたユーザーメモリの信号と一致しない場合は、読み出しは中止されます。
SAVE	現在の設定値を「MEM.NUM」で指定されたユーザメモリに保存します。

③ TOP>SIGNAL>AUDIO

音声信号の遅延量・音量を設定します。

a. DELAY

音声信号の遅延量を設定します。

下記の各単位は連動しています。いずれかの単位を設定すると、それ以外の単位には換算された値が表示されます。

項目	説明	初期値
1ms	1 ミリ秒単位で設定します。	0 ms
0.1s	0.1 秒単位で設定します。	0.0 s
FRAME	映像のフレーム数で設定します。 フレームレートは「TOP>CONFIG>AUDIO>F.RATE」で設定できます。	0 FRAME

b. VOLUME

音声信号の音量を設定します。

項目	説明	初期値
ALL	アナログとデジタルの両方の音量を同時に制御します。	0 dB
ANALOG	アナログ入力音量を制御します。	0 dB
DIGITAL	デジタル入力音量を制御します。	0 dB

※ 実際の音量は、アナログ入力は (ALL + ANALOG)、デジタル入力は (ALL + DIGITAL) になります。

④ TOP>INFO

各種情報を表示します。

a. IN.SIG

入力信号の情報が表示されます。

b. IN.EDID

本機から入力側の相手機器に送られる EDID の情報が表示されます。

c. OUT.SIG

出力信号の情報が表示されます。

d. OUT.EDID

出力側の相手機器から読み出した EDID の情報が表示されます。

⑤ TOP>CONFIG>VIDEO

映像に関する設定を行います

a. INPUT

映像入力に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
HV.TERM	アナログ RGB 入力の同期を75Ω 終端します。	OFF
HDCP	入力側機器からの HDCP 通信に応答します。	ON
NO-ASP	入力信号にアスペクト情報がない場合の動作を選択します。 KEEP(直前のアスペクトを維持) / 4:3 / 16:9	4:3
COLSPC	入力信号の色空間を選択します。 AUTO : 入力信号に従います。 RGB : RGB として処理します。 YUV601 : 色差(ITU-601)として処理します。 YUV709 : 色差(ITU-709)として処理します。	AUTO
RANGE	デジタル RGB 入力時のレンジを選択します。 AUTO : 入力信号に従います。 LIMITED : リミットレンジ(16-235)として処理します。 FULL : フルレンジ(0-255)として処理します。	AUTO
SD-VID	入力信号が SD 解像度のときの信号形式を選択します。 AUTO-S : 解像度が変化したとき、1 回だけ判定します。 AUTO-C : 常時判定します。 CVBS : コンポジットビデオとして処理します。 YC : S-ビデオとして処理します。 YcbCr : 色差コンポーネントとして処理します。	AUTO-S
SD-Y/C	入力信号が CVBS のときの Y/C 分離方法を選択します。 2D : 2 次元フィルタで YC 分離します。 3D : 3 次元フィルタで YC 分離します。	3D
SD-TBC	入力信号が SD 解像度のときの TBC の動作を選択します。 OFF : TBC を停止します。(低遅延) LINE : ライン TBC で動作します。(低遅延) FRAME : フレーム TBC で動作します。	FRAME
EDID	COPY	出力側機器から入力側へ EDID をコピーします。
	CUSTOM	DIG/ANA 信号の種類 ANALOG / DVI / HDMI
		DEPTH 色深度 8bit / 10bit / 12bit
		DET 1 詳細タイミング 1 を解像度リストから選択(優先解像度)
		DET 2 詳細タイミング 2 を解像度リストから選択
		AUD.CH HDMI のときの音声チャンネル数
	EDIT	EDID を 16 進数で編集します。 「WRITE」を実行すると書き込まれます。

b. OUTPUT

映像出力に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
HDMI	デジタル映像出力の方式を選択します。 AUTO : 出力側機器の EDID に従います。 DVI : 常に DVI で出力します。 HDMI : 常に HDMI で出力します。	AUTO
HDCP	デジタル映像出力の HDCP を有効にします。 AUTO : 入力信号に従います。 ON : 常に有効にします。	AUTO
ENCRYPT	デジタル映像出力の暗号化を有効にします。 AUTO : 入力信号に従います。 ON : 常に有効にします。	AUTO
DEPTH	デジタル映像出力の色深度を設定します。 AUTO : 出力側機器の EDID に従います。 8bit / 10bit / 12bit : 色深度を固定します。	AUTO
RANGE	デジタル映像出力のレンジを設定します。 AUTO : 出力解像度に従います。 LIMITED / FULL : レンジを固定します。	AUTO
HDMI-IP	HDMI 出力時に インターレースを倍速変換するか選択します。 INTLACE : インターレースのまま出力します。 PROGRE : 倍速変換してプログレッシブで出力します。	INTLACE
DVI-IP	DVI または アナログ映像出力時に インターレースを倍速変換するか選択します。 INTLACE : インターレースのまま出力します。 PROGRE : 倍速変換してプログレッシブで出力します。	PROGRE
DA_MODE	アナログ映像出力の色空間と同期方式を選択します。 RGB+HV : RGB で HV セパレート同期 YCbCr : YCbCr で Y に 2 値同期を重畳 YPbPr : YPbPr で Y に 2 値同期を重畳 RGB+SOG : RGB で G に 2 値同期を重畳 ref.SIG : SIGNAL 設定に従います。	RGB+HV

c.NO-SIG

入力が無信号のときに出力する映像に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
PATTERN	出力する映像を選択します。 OFF : 出力しません MULTI : 複合テストパターン BLACK : 黒画面 BLUE : 青画面	OFF
RESO.	テスト映像の解像度を選択します。 0 ~ : 内蔵ジェネレータ	0

d.TEST

テスト映像に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
PATTERN	出力する映像を選択します。 OFF : 入力映像 MULTI : 複合テストパターン BLACK : 黒画面 BLUE : 青画面	OFF
RESO.	テスト映像の解像度を選択します。 0 : 入力解像度 1 ~ : 内蔵ジェネレータ	0

⑥ TOP>CONFIG>AUDIO

音声に関する設定を行います。

a. MIXER

音声ミキサーに関する設定を行います。

項目	説明	初期値
ch. 1,2	デジタル音声(ch.1,2)にアナログ音声(ch.L,R)をミックスします。	ON
ch. 3,4	デジタル音声(ch.3,4)にアナログ音声(ch.L,R)をミックスします。	OFF
ch. 5,6	デジタル音声(ch.5,6)にアナログ音声(ch.L,R)をミックスします。	OFF
ch. 7,8	デジタル音声(ch.7,8)にアナログ音声(ch.L,R)をミックスします。	OFF

b. D/A ch.

音声アナログ出力に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
D/A ch.	アナログ出力する音声のチャンネルを選択します。	1,2

c. F.RATE

音声遅延量の計算に使用するフレームレート設定を行います。

項目	説明	初期値
F.RATE	音声遅延量の計算に使用するフレームレートを設定します。	60

d. TEST

テスト音声に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
ENABLE	テスト音声を出力します。	OFF
LEVEL	テスト音声の出力レベルを設定します。	-20dBFS
FREQ	テスト音声の周波数を設定します。	996Hz

⑦ TOP>CONFIG>DISPLAY

本体前面のディスプレイに関する設定を行います。

項目	説明	初期値
GRAPH	グラフ表示部に表示する内容を選択します。 OFF : 何も表示しません。 V.PICT : 映像入力の画像を表示します。 V.WAVE : 映像入力の波形を表示します。 A.WAVE : 音声入力の波形を表示します。 A.FFT : 音声入力のスペクトルを表示します。	V.PICT
LEVEL	レベル表示部に表示する内容を選択します。 OFF : 何も表示しません。 PKHLD : 音声レベルをピークホールド付で表示します。 LEVEL : 音声レベルを表示します。	PKHLD
SCR.SAV	スクリーンセイバーを開始するまでの時間を設定します。(OFF, 1~255min) ※ 本機のディスプレイは 焼きつき現象が起こりますので、スクリーンセイバーを有効にすることをお勧めします。	10min

⑧ TOP>CONFIG>DIAL

本体前面のダイヤル回転操作に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
DIAL	メニューが表示されていないときのダイヤル回転操作の機能を選択します。 OFF : 機能なし VOL.ALL : デジタル音声入力とアナログ音声入力の音量 VOL.ANA : アナログ音声入力の音量 VOL.DIG : デジタル音声入力の音量 G.SCALE : グラフ表示の Y 軸スケール	OFF

⑨ TOP>CONFIG>DBLCLK

本体前面のダイヤルダブルクリック操作に関する設定を行います。

項目	説明	初期値
DBLCLK	ダイヤルロック中のダイヤルダブルクリック操作の機能を選択します。 OFF : 機能なし AUTOADJ : オートセットアップを実行します。	AUTOADJ

⑩ TOP>CONFIG>INIT

出荷時状態に初期化します。

項目	説明	初期値
INIT	すべての設定・メモリを出荷時の状態に初期化します。 NO : 中止 YES : 初期化を実行します。	NO

⑪ ROM Ver.

本機のファームウェアの情報が表示されます。

項目	説明
MODEL	本機の型番
VER.	ファームウェアのバージョン
DATE	ファームウェアのリリース日
SUM	ファームウェアのチェックサム
TIME	POWER : 本機の累積稼働時間 DISPLAY : 前面ディスプレイの累積表示時間

(3) ダイヤルロック

ダイヤルロック機能により、本機の操作を禁止することができます。

メニューが表示されていないときに、ダイヤルを1秒以上長押しすると、ダイヤルロック状態を変更することができます。

ダイヤルロック中にダイヤルをダブルクリックすると、「TOP」→「CONFIG」→「DBLCLK」で設定した機能を実行できます。

ダイヤルロックの状態はディスプレイ右上に鍵マークで表示されます。

鍵マークなし : ダイヤルロック解除(操作許可)

鍵マークあり : ダイヤルロック設定(操作禁止)

(4) データバックアップ

本機では、各設定変更後に自動で設定値を記憶します。

8. ラックマウント

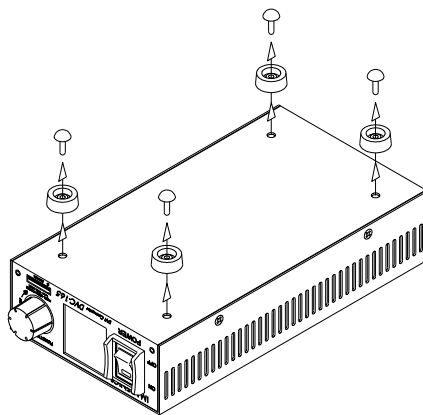
MK-104A (別売)を使用すると、弊社のクォータサイズ機器を 4 台までをラックマウントできます。

QB-2(別売)を使用すると、弊社のクォータサイズ機器 2 台までを弊社のハーフサイズに変換することができます。

QB-2 を使用してラックマウントするには、MK-100(別売)が必要です。

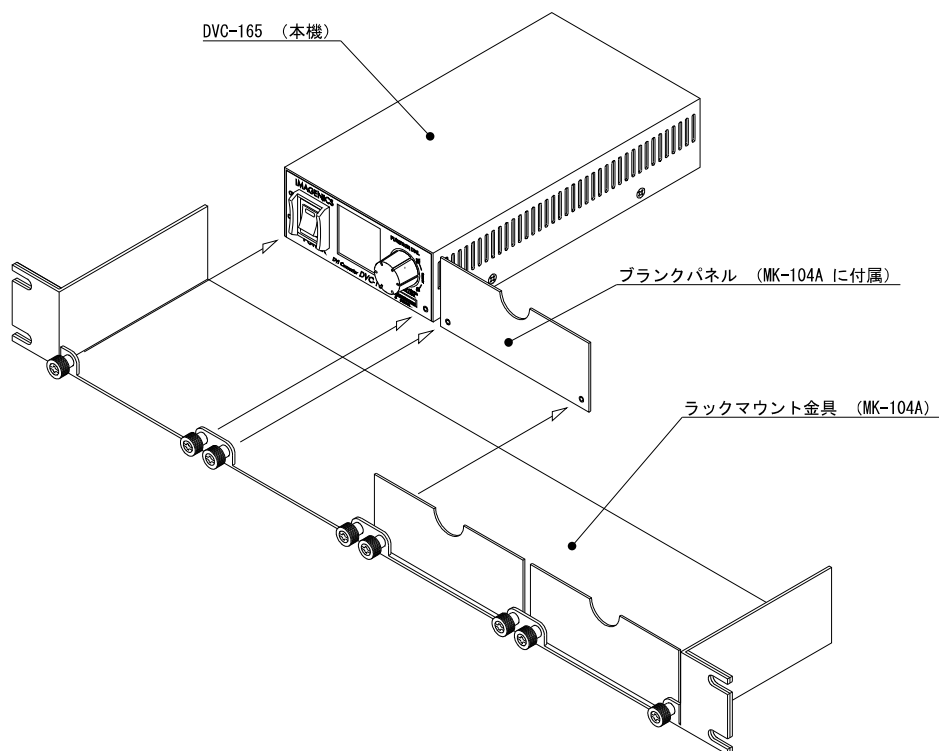
(1) 本機の準備

底面のプラ足4個を外します。(プラ足中央のピンを引き抜くと外れます。)



(2) MK-104Aを使用する場合

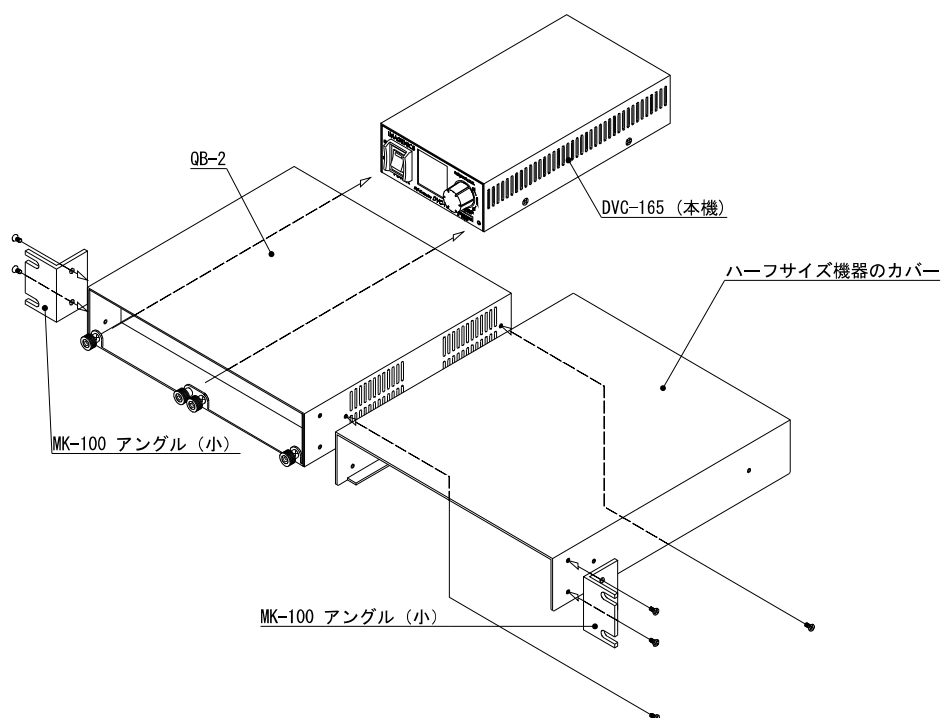
下図を参考にラックマウント金具に取り付けてください。



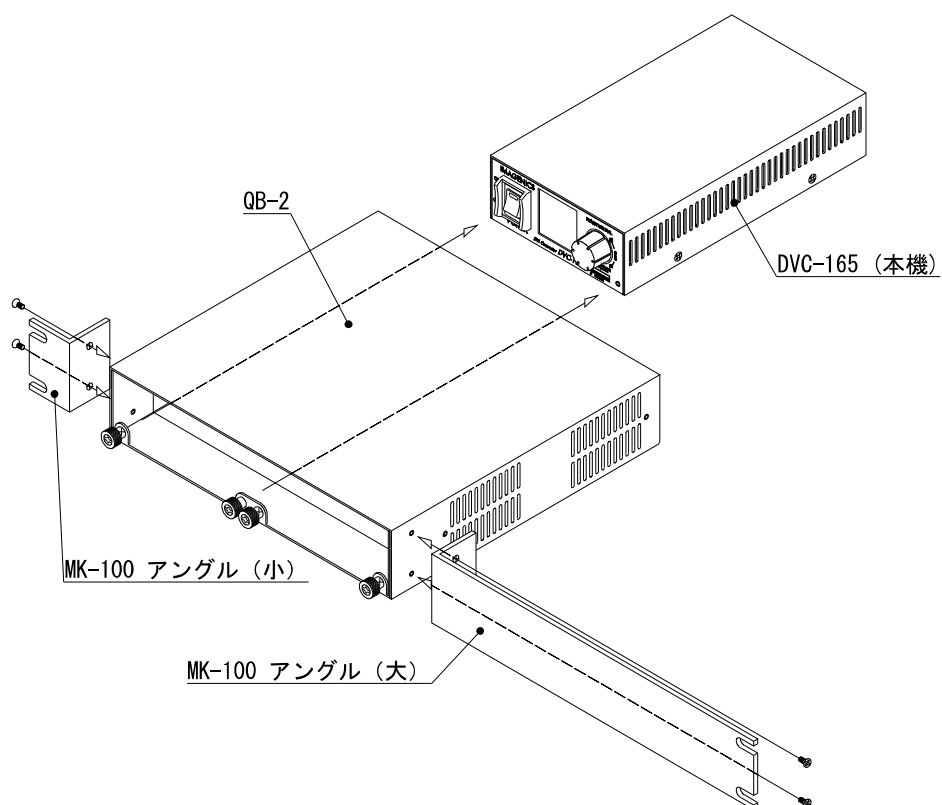
(3) QB-2とMK-100を使用する場合

下図を参考にラックマウント金具に取り付けてください。

① 弊社のハーフサイズ機器と連結する場合



② 弊社のハーフサイズ機器と連結しない場合



9. 主な仕様

入力端子	映像: TMD5/アナログ DVI-I 1 系統 音声: ステレオ不平衡 100 k Ω RCA ピンジャック 1 系統
出力端子	映像: TMD5/アナログ DVI-I 1 系統 音声: ステレオ不平衡 150 Ω RCA ピンジャック 1 系統
映像信号入力	TMD5 : DVI 25~165 MHz 24 bit, HDMI 25~225 MHz 24~36 bit (※1) RGB : R,G,B 0.7 V(p-p) 75 Ω , HD, VD TTL YPbPr : Y 1.0 V(p-p) 75 Ω , Pb, Pr 0.7 V(p-p) 75 Ω S-VIDEO : Y 1.0 V(p-p) 75 Ω , C 0.286 V(p-p) 75 Ω (※2) VIDEO : CVBS 1.0 V(p-p) 75 Ω (※3)
映像信号出力	TMD5(※8) : DVI 25~165 MHz 24 bit RGB4:4:4, HDMI 25~225 MHz 24~36 bit RGB4:4:4 (※1) RGB : R,G,B 0.7 V(p-p) 75 Ω , HD, VD TTL YPbPr : Y 1.0 V(p-p) 75 Ω , Pb, Pr 0.7 V(p-p) 75 Ω (※4)
映像量子化	ピクセルクロック : 25~165 MHz、分解能: 12 bit
映像機能	3次元 Y/C 分離、TBC、ラインダブラー、EDID エミュレート
音声最大入力レベル	2.449 V(rms) (+10 dBu)
音声最大出力レベル	2.449 V(rms) (+10 dBu)
音声周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz にて ± 0.1 dB
音声歪率	0.013 %以下
音声ダイナミックレンジ	97 dB 以上
音声量子化	24 bit 48 k sample/s
音声遅延量設定	0 ~ 20 秒 まで 0.1 sec, 1 msec, 1 frame (※5)単位で設定可能
音声レベルコントロール	$-\infty$ 、-95.5 ~ +31.5 dB 256 段階
操作部	前面に小型ディスプレイと操作ダイヤルを装備、ダイヤルロック機能、バックアップメモリ、ユーザーメモリによる設定切り替え
電源	AC 100 V 50 Hz または 60 Hz
消費電力	10 W 以下
質量	約 710 g
動作温湿度範囲	0 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C 20 %RH ~ 90 %RH (ただし結露なきこと)
保存温湿度範囲	-20 $^{\circ}$ C ~ 70 $^{\circ}$ C 20 %RH ~ 90 %RH (ただし結露なきこと)
外形寸法	幅 100 mm 高さ 40 mm 奥行き 180 mm (突起物含まず) (※6) (※7)
付属品	電源コード(2P-2S 2m) 1 本、電源スイッチカバー 1 個、DVI/Dsub 変換アダプタ 1 個

※1 HDMI/DVI 変換アダプタは別売です。

※2 S-VIDEO/DVI 変換ケーブルは別売です。

※3 BNC/DVI 変換アダプタは別売です。

※4 Y には 0.3V の複合同期、Pb, Pr には 0.35V の直流電圧が重畳されます。

※5 遅延量をフレーム数で設定できます(フレームレートは 1~255 frame/s で変更可能)

※6 ラックマウントには別売の MK-104A が必要です。

※7 別売の QB-2 を使用すると、弊社のハーフサイズ機器と連結できます。ラックマウントには、別途 MK-100 が必要です。

※8 長距離の伝送には対応していません。15 m 以上の伝送が必要な場合は、各営業所までお問い合わせください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

製造元

イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイヤルにて承ります。

フリーダイヤル(全国共通)



0120-480-980

東日本サポート 03-3464-1418

西日本サポート 06-6358-1712

営業本部	東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F 〒150-0043 TEL 03 (3464) 1401 FAX 03 (3477) 2216
大阪営業所	大阪市都島区片町 2-2-48 JR 京橋駅NKビル3F 〒534-0025 TEL 06 (6354) 9599 FAX 06 (6354) 9598
福岡営業所	福岡市博多区博多駅東 1-18-25 第5博多偕成ビル 3F 〒812-0013 TEL 092 (483) 4011 FAX 092 (483) 4012
本社	東京都調布市国領町 1-31-5 〒182-0022
Website	https://imagenics.co.jp/